

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 「チーム釜利谷」として全職員で子ども一人ひとりを大切に、信頼される学校にします。
- ・教師の指導力を高め、分かる授業を実践し、子どもどうしの学び合いを大切にしながら学力を向上させます。
- ・互いのよさを認め合い、人とのかかわりを大切にするのできる子を育てます。
- ・健康な心身をつくるための生活習慣を形成し、進んで運動しようとする態度を育てます。
- ・家庭・地域と連携を図り、豊かな体験を通して規範意識や感謝の気持ちを育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
担当	豊かな心	人とのかかわりについて考える機会を大切に、相手と思い合い互いに協力し合って、よりよい集団生活ができるようにする。	①「特別な教科 道徳」で指導と評価が一体化した指導法を学び、自分自身をより深く見つめることができるようにする。(指針1) ②たてわり活動を取り入れ、これまでのペア活動で生かした年間計画を立て、異年齢集団活動による人とのつながりを築くために職員全員で取り組む。(指針2) ③「にこにこ人権会議」でいじめや暴力がなく、全児童が安心して過ごせる学校にするために何ができるかを話し合う。(指針3)
	道徳部 特活部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

全校的に落ち着いて生活をしている。地元根ざした行事や風土があり、地域からの協力も得られ、人との関わりをもてる環境にある。自尊感情は比較的高いが、相手を思いやる気持ちは未熟なところがあり、「にこにこ人権会議」や「あいさつ運動」などを通して、人との関わりを大切にして、よりよい人間関係の構築が図れるようにしていきたい。規範意識は高く、また道徳的価値は理解しているが、行動に表せないところもある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「特別な教科 道徳」の充実

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- ・全学級の道徳授業を家庭・地域に年一回以上公開する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」を積極的に活用する。

指針2 体験学習の充実

- ・たてわり活動で学年段階における役割を明確にして他学年とのふれあいを大切にする。
- ・「児童会活動」「クラブ活動」「たてわり活動」などの異年齢集団活動をより自主的、意欲的に行うようにする

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権全体計画に基づいて教育活動を行う。
- ・「にこにこ人権会議」の活動を通して、自他の人権を尊重しようとする意識を高める。
- ・人権集会、いじめアンケートなどにより、人権感覚を身に付ける。